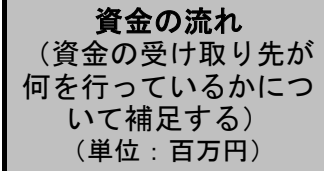


	令和5年度行政事業レビューシート					( 文部科学省 )	
事業名	環境分野の研究開発の推進				担当部局庁	研究開発局	作成責任者
事業開始年度	平成23年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	環境エネルギー課	環境エネルギー課長 轟 涉	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定) 気候変動適応計画(令和3年10月閣議決定) 地球温暖化対策計画(令和3年10月閣議決定) 海洋基本計画(令和5年4月閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月閣議決定) パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略(令和3年10月閣議決定) 革新的環境イノベーション戦略(令和2年1月統合イノベーション戦略推進会議決定)		
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的活動への対応				主要経費	科学技術振興費	
施策	9-2 環境・エネルギーに関する課題への対応						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-28.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	地球環境科学技術に関する各国の研究成果、活動との情報交換を行い、文部科学省における環境分野の研究開発を効果的かつ円滑に推進するとともに、研究者コミュニティ以外の政策・行政担当者、経済界、各種NGO/NPO などのステークホルダーとの協働を通じて、地域から地球全体の環境保全と持続可能性を追求する国際協同研究計画を推進することで、様々な社会課題を解決するための研究開発・社会実装の推進と総合知の活用に貢献する。						
現状・課題 (5行程度以内)	地球環境分野の国際会議として国連気候変動枠組条約(UNFCCC)、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)等が開催されており、文部科学省は環境分野の研究開発を推進するため、当該会議への出席等を通じて地球環境科学技術に関する各国の成果、活動の情報収集等を行うことが必要である。 フューチャー・アースは、「地球圏・生物圏国際共同研究計画(IGBP)」、「世界気候研究計画(WCRP)」、「生物多様性科学国際共同研究計画(DIVERSITAS)」、「地球環境変化の人間の側面に関する国際研究計画(IHDP)」の4つが統合する形で2015年に設立され、SDGsで掲げられた持続可能な社会へ向けた道筋を、学術界や産業界の立場から具体的に提示し実行する極めて重要な国際プログラムである。フューチャー・アース構想は、自然・社会・人文科学にまたがる学際研究に加え、社会との協働で超学際研究を進めるものであり、第6期科学技術・イノベーション基本計画に掲げられている「様々な社会課題を解決するための研究開発・社会実装の推進と総合知の活用」にも寄与することから、フューチャー・アース本部事務局への拠出金を通じてフューチャー・アース構想を推進していく必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	気候変動等の地球環境問題等に関する科学的知見の充実に資するため、地球環境科学技術を効率的かつ円滑に推進する観点から地球環境研究開発推進に関する国際会議等に参加し、研究成果等の情報交換、討議等を行う。 また、フューチャー・アース本部事務局への拠出金を通じて、研究内容や国際協力の調整等を行いながら、国際協同研究計画を進める。						
事業概要URL	https://japan.futureearth.org/						
実施方法	直接実施						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	26	26	36	28	38
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	10	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	36	26	36	28	38	
	執行額(G)		27	18	36		
	執行率(%) =(G)/(F)		75%	69%	100%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		104%	69%	100%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		研究開発推進費		重要政策推進枠 10百万円		
	(目)	地球環境国際協同研究計画拠出金	10	10			
	(目)	庁費	8	8			
	(目)	職員旅費	6	6			
	(目)	非常勤職員手当	2	2			
	(目)	その他	2	2			
	(目)	地球環境行動会議開催業務庁費	-	10			
		その他					
	計(A)		28	38			

活動内容① (アクティビティ)		国連気候変動枠組条約(UNFCCC)、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)等の地球環境研究開発推進に関する国際会議等に参加するとともに、フューチャー・アース本部事務局への拠出金の支出により、自然科学・人文科学・社会科学が強く連携し、社会のステークホルダーと協同して研究テーマの選定・計画立案から研究の実施、研究成果の社会実装までを行うトランスディシプリナリー研究を推進する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		地球環境研究開発推進に関する国際会議等への参加を通じて、環境分野の研究開発の効率的かつ円滑な推進を目指す。	地球環境研究開発推進に関する国際会議等への参加(回)	活動実績	回	13	16	22	-	-
				当初見込み	回	12	14	17	14	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	地球環境研究開発推進に関する国際会議等への参加を通じた各国の研究成果等の知見収集や研究者間のネットワーク構築とともに、拠出金を支出することにより、フューチャー・アース(地球環境国際協同研究計画)を推進することで、地球環境分野における超学際的なプロジェクトが多く創出される。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		地球環境国際協同研究計画による地球システムを制御する物理的、化学的、生物学的相互作用の諸過程の研究に関する超学際的なプロジェクトを創出する。	地球環境国際共同研究計画のプロジェクト数(件)  ※成果実績については現在集計中(令和5年秋頃完了見込み)	成果実績	件	-	-	-	-	
				目標値	件	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関する成果実績		文部科学省調べ								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	研究プロジェクトにより超学際的な論文が多く輩出される。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		地球環境国際協同研究計画による地球システムを制御する物理的、化学的、生物学的相互作用の諸過程の研究に関するプロジェクトが維持され、研究が推進されることにより、年間500本の論文が輩出される。	地球環境国際共同研究計画に関する代表的な論文数(本)  ※令和4年度の成果実績については、現在集計中(令和5年秋頃完了見込み)	成果実績	本	985	831	-	-	
				目標値	本	500	500	500	-	
				達成度	%	197	166.2	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関する成果実績		文部科学省調べ								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

[illegible]



## 支出先上位10者リスト

A.